



ゆいぐみだより

2019年10月
尚徳福祉会 馬橋保育園



9月下旬、梅里中央公園へお散歩に行ったゆい組さん。いつの間にか季節は変わり、「わあ、ドングリがいっぱい落ちてる！」と興奮気味に拾い集めていました。園庭では大縄跳びが再びブーム。これまで興味を示さなかった子も、「大縄やる！」と積極的に参加するようになりました。「もう運動会が楽しみすぎる！」という声もあちらこちらから聞かれ、パラバルーンにも楽しそうに取り組み、子どもたち同士での「運動会ごっこ」も盛り上がってきました。

今月はそんな子どもたちの心待ちにしている運動会があります。自分自身の目当てに向かってやり抜く力や、友だちと一緒に力を合わせてやり遂げる楽しさを、存分に味わうことができるように心がけていきたいと思います。

今月のわらい

- 友だちと協力し合ってやり遂げる楽しさや、みんなで表現する喜びを味わう。
- 友だちとの関わり合いの中で、自分の思いを言葉にして伝えようとする。
- 秋の動植物を見つけたり、触れたりしながら、遊びの中に取り入れて楽しむ。

お知らせとお願い

- ★ 運動会に向けて、園庭用の靴がサイズの小さくないか、ベルトははがれやすくなっていないかなどの確認をお願いします。
- ★ 自由工作のときに使いますので、お菓子の空き箱などがありましたらご提供いただけると助かります。

「じぶんのからだ、あらえるようになったよ」

6月から始まったシャワーですが、9月後半から自分たちで身体を洗うように声かけしました。洗い方をジェスチャーで伝え、担任の動きを真剣に観察しながら「くびすじ、うで、わきのした・・・」と真似する子ども達。最後は自分で顔をプルプルっと洗い、シャワーボタンをオフにします。タオルで身体を拭き始めるその表情には喜びがあふれています。ゆい組生活も後半になり、「自分のことは自分でしよう」という目標に向かって、着実に成長している子どもたちです。

「きらいだったけど、おいしーい！」

ゆい組が育てていたピーマンのプランターの中に、「あっ、赤いピーマンがある！」と気が付いた子どもたち。ナスのプランターにもペットボトルほどの大きなナスがぶら下がっていてビックリです。早速収穫して調理さんのもとへ。「おいしい料理を作ってください」とお願いしました。翌日の昼食「鶏肉のケチャップ煮」の中には、しっかりそれらの赤ピーマンとナスが入っていました。ナスやピーマンが苦手な子どもも一口食べてみて、「おいしい！」と完食。そういえばトマトが嫌いだった子も、「このトマトソースは食べられる！」と、クッキングで作ったピザトーストを頬張っていました。やはり自分たちで育てたりクッキングしたりした野菜は格別なのかもしれません。食育の大切さを改めて知りました。

★10月生まれのお友だち★

おたんじょうび
おめでとう！！

